

## 第5章 事業費，収支及び経済波及効果の試算

### 1 事業費の試算

新総合体育館の事業費として，施設整備費，維持管理・運営費を試算した。

なお，これらについては，現時点での概算であるため，今後，検討の進捗等を踏まえ精査を行う必要がある。

#### (1) 施設整備費

昨年度実施した需要予測調査の対象施設のうち，新総合体育館(延床面積 3万㎡程度)と施設規模・構造及び施設コンセプトが類似する施設の延床面積1㎡当たりの工事費単価を，現在の工事費単価に換算し，新総合体育館の延床面積に乘じる手法により試算した。

この延床面積(3万㎡程度)については，各種競技の大会基準や類似施設の事例等を踏まえ想定したものである。

##### <施設整備費の概算>

費目	金額	備考
建設工事費	約 170 億円～約 210 億円※	施設本体のみ
基盤造成経費	約 19 億円	既設舗装の撤去，整地等
初期備品購入費	約 10 億円	事務用備品，体育関連器具等
設計監理費	約 6 億円	基本・実施設計，工事監理費等
計	約 205 億円～約 245 億円※	税込み

(注) 社会情勢等の変化により，今後変動する可能性あり。

※ 労務・資材単価の上昇や工法の見直し等による変動を見込んだもの。

#### (2) 維持管理・運営費

新総合体育館(延床面積 3万㎡程度)と施設規模・構造及び施設コンセプトが類似する施設における1㎡当たりの維持管理・運営費(維持管理費，運営費，光熱水費)単価を，新総合体育館の延床面積に乘じる手法により試算した。

##### <維持管理・運営費の概算>

費目	金額	備考
維持管理・運営費	約 297 百万円/年	税込み

(注) 社会情勢等の変化により，今後変動する可能性あり。

## 2 収入の試算

新総合体育館の収入について、昨年度実施した需要予測調査結果などを参考に試算した。

### (1) 利用料金収入

#### ① メインアリーナ，サブアリーナ，柔剣道場，弓道場

ア 新総合体育館の主な構成である，メインアリーナ，サブアリーナ，柔剣道場，弓道場について，利用形態ごとに想定される利用日数に一日当たりの利用料金を乗じる手法により試算した。

イ 利用日数については，昨年度実施した需要予測調査結果に基づき設定した。

ウ メインアリーナ，サブアリーナの利用料金については，イベント需要を踏まえ設定することが想定されることから，新総合体育館と立地条件が類似する施設（大都市圏の主要駅（博多駅等）から60分から120分でアクセスできる施設）の利用料金を参考に仮定した。

エ 柔剣道場及び弓道場の利用料金については，新総合体育館（柔道場・剣道場各2面，弓道場近的10人立から12人立）と施設規模が類似する施設の利用料金を参考に仮定した。

オ これらの利用料金については，今後，具体的に検討することとなるが，検討に当たっては，県民が利用しやすいものとなるよう留意する必要がある。

#### ② トレーニング室

新総合体育館が立地する鹿児島市と人口規模が類似する施設の利用料金及び新総合体育館のトレーニング室（385㎡）と規模が類似する鹿児島アリーナのトレーニング室（360㎡）の利用状況を参考に試算した。

#### ③ 駐車場

新総合体育館の利用形態ごとの来場者数に基づき，想定される利用台数を設定の上，試算した。

### (2) その他の収入

その他の収入として想定されるネーミングライツについて，県内の他施設の状況を参考に試算した。

## ＜利用料金収入の概算＞

利用形態	金額	備考
① スポーツ利用	約 48 百万円	
スポーツ大会（県大会，全国・国際大会等）	約 15 百万円	
プロスポーツ	約 10 百万円	
県民利用	約 23 百万円	
② 多目的利用	約 81 百万円	
コンサート	約 69 百万円	
その他イベント（M I C E等）	約 12 百万円	
計（① + ②）	約 129 百万円	
③ トレーニング室	約 24 百万円	
④ 駐車場	約 33 百万円	
計	約 186 百万円	税込み

（注）社会情勢等の変化により，今後変動する可能性あり。

## ＜その他の収入の概算＞

費目	金額	備考
ネーミングライツ	約 22 百万円	税込み

（注）社会情勢等の変化により，今後変動する可能性あり。

### 3 収支の試算

新総合体育館については、施設のコンセプトにおいて、「する」スポーツをベースとしたアスリートファーストの施設とすることとしており、スポーツ利用を中心とする類似施設と同様、一定程度の指定管理料を負担して維持管理を行っていくことが想定される。

なお、施設整備に際し起債等を行った場合、その規模に応じた借入の返済及び利息の負担も収支計画に反映させる必要がある。

今後、想定される維持管理・運営費を低減させる観点から、PPP/PFI手法の導入やネーミングライツについて検討を行うとともに、現在想定している以上のイベントや大会誘致が実現できるよう、プロモーター等への戦略的なPRなどに取り組む必要がある。

#### <収支の概算>

費目	金額	備考
① 支出（維持管理・運営費）	約 297 百万円	
② 収入	約 208 百万円	
スポーツ利用	約 48 百万円	
多目的利用	約 81 百万円	
トレーニング室利用料	約 24 百万円	
駐車場利用料	約 33 百万円	
その他（ネーミングライツ）	約 22 百万円	
収支差（②－①）	約▲89 百万円	税込み
自立度（②／①）※	約 0.7	

（注）社会情勢等の変化により、今後変動する可能性あり。

※ 施設運営に係る指標として自立度（収入／支出（維持管理・運営費））があり、数字が大きいほど採算性が良いとされており、1.0 以上であれば独立採算で運営できるとされている。

需要予測調査結果等によると、類似施設の自立度は、県民・市民利用が中心の施設の平均は 0.38、新総合体育館と同様、大会・プロスポーツ利用中心の施設の平均は 0.6 となっている。

新総合体育館は、大会・プロスポーツ利用に加え、コンサート等の多目的利用が多く見込まれていることなどから、自立度を 0.7 と予測しており、類似施設に比べると高い。

## 4 経済波及効果の試算

新総合体育館の整備に伴う経済波及効果には、施設の建設に伴う効果、施設の維持管理・運営に伴う効果、来場者の行動に伴う効果が想定される。

これらの効果について、鹿児島県産業連関表により試算した。

### (1) 施設の建設に伴う効果

施設の建設に伴う経済波及効果は、施設整備費(建設工事費, 基盤造成経費, 初期備品購入費, 設計監理費)に基づき試算したところ, 約 288 億円となった。

### (2) 施設の維持管理・運営に伴う効果

施設が維持管理・運営されることによる経済波及効果は、維持管理・運営費に基づき試算したところ, 約 2.7 億円となった。

### (3) 来場者の行動に伴う効果

来場者の行動に伴う経済波及効果は、新総合体育館の来場者一人当たりの消費額(交通費, 宿泊費, 飲食費等)と来場者数に基づき試算したところ, 約 51 億円となった。

※ 新総合体育館の来場者数については、昨年度実施した需要予測調査結果の上位予測の利用者数(約41万人)に各種大会やコンサート等の主催者数(約1万人)を加えた約42万人を使用

※ 一人当たりの消費額については、県外宿泊者, 県内宿泊者, 県外日帰者, 県内日帰者それぞれの消費額を鹿児島県統計課推計値に基づき設定。

#### <新総合体育館の整備に伴う経済波及効果>

##### 1 施設の建設に伴う効果 (施設整備時のみ発生) (単位: 百万円)

区分	直接効果	一次波及効果	二次波及効果	総合波及効果
生産誘発額	19,610	5,242	3,932	28,784

##### 2 施設の維持管理・運営に伴う効果 (年間) (単位: 百万円)

区分	直接効果	一次波及効果	二次波及効果	総合波及効果
生産誘発額	184	52	38	274

##### 3 来場者の行動に伴う効果 (年間) (単位: 百万円)

区分	直接・一次波及効果	二次波及効果	総合波及効果
生産誘発額	4,471	657	5,128

※平成27年 鹿児島県産業連関表により試算